

議 事 録

- 1 会議名 第4回さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議
- 2 日 時 平成27年10月7日(水) 10時00分～11時40分
- 3 場 所 さぬき市役所301会議室
- 4 出席者 (委員)
朝倉委員 岩村委員 公庄委員 佐藤委員 多田委員
徳地委員 福家(弘)委員 福家(良)委員 六車委員
(市)
穴吹総務部長 総務部政策課 白井課長 津村係長
- 5 傍 聴 3名
- 6 会議次第 1 開会
2 座長挨拶
3 議事
(1) さぬき市人口ビジョン素案について
(2) さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略素案について
(3) 今後のスケジュールについて
4 その他
5 閉会
- 7 配布資料 ○【資料1】 さぬき市人口ビジョン素案
○【資料2】 さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略素案
○【資料3】 さぬき市人口ビジョン及びさぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略素案修正予定表(平成27年10月1日現在)
○【資料4】 さぬき市人口ビジョン及びさぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略素案に係る意見募集結果

8 議事の経過及び発言要旨

＜ 開 会 ＞ (10:00)	
事務局	ただ今より、第4回さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議をはじめます。座長よりご挨拶いただいたあと、引き続き議事進行をお願いいたします。
座長	おはようございます。今日も、みなさんのご支援とご協力、活発な議論をお願いいたします。さっそくですが、事務局から事前配布された議題1と2、資料3について、お読みいただいているかと思いますが、事務局から簡潔に、内容のポイントなどを報告していただきたいと思っております。よろしく申し上げます。
事務局	<説明>
座長	どうもありがとうございました。事務局説明の繰り返しになるかもしれませんが、資料1は、人口ビジョン。統計的資料です。市としては、2060年に32,000人の維持を目指すことを目標として定めています。これでいいのかという意見もあるかもしれ

	<p>ませんが、私としては、この人数を死守しなければいけないような施策と実行が必要だろうと思います。資料1は、主にデータ資料ですので、この内容でよろしいでしょうか。</p>
委員	<p><異議なし></p>
座長	<p>それでは続いて、2060年に32,000人を維持、あるいは何としても踏み留めるということで、事務局のほうから資料2の施策案が出ています。前回の会議までにも、実行可能性などを話してきて、それを活かした形となっています。あとは、文言の問題とか、分かりやすくしたとかテクニカル的な変更に移るとは思いますが、今回が、策定までの最後の会でもありますので、皆さんから簡単に、資料1と2について、総合的にご感想とか、付け加えたいことなどの意見をいただきたいと思います。</p>
委員	<p>一応、この1、2の素案を読んできましたが、改めて今日、これに対するコメントは用意しておりません。参考にはならないと思いますが、私どものグループ会社に、丸亀本社のあるバス会社がありまして、その関係で、私共の会社からも役員が1人、丸亀市の有識者会議に出ていまして、色々と、さぬき市と丸亀市から今まで出てきた素案について意見を交わしたことがあります。丸亀市の場合は人口11万人でこちらは53,000。環境は全く違いますが、この素案の最後にある、PDCA、ここに尽きると思っています。立案企画、実施が仮にもしできたとしても、要はチェックで、評価、あるいは検証して最終改善していく。CとAが、非常に大事なものになってくるような気がします。戦略の内容は、高松市の資料もちらっと見たことがあるのですが、8市9町どれも、それまでの特性といいますか、独自の案を出した部分もあるし、ほとんど似通った内容になっている部分もあります。非常に範囲が広いし、内容が深いので、最終的にはさぬき市がどれだけ本腰を入れて取り組むかだと思います。1回目の有識者会議で、大山市長が、「何もしなければ消滅する中にさぬき市は入っていません。だけど、「しなければ」ということなのでうちはやります」、というようなことをはっきりと述べられていましたので、雑駁な感想と思いますが、私としては、期待しているということを述べさせていただきます。</p>
座長	<p>どうもありがとうございました。コメントと申しますか、感想でも結構ですので、続いてよろしくをお願いします。</p>
委員	<p>よくできた案だと思います。しかし、さぬき市、さぬき市と言っていますが、近隣の自治体とどううまく協力してやっていくかということのほうが大事なような気もしています。さぬき市だけが、というのが前面に出ていますが、さぬき市だけでやるのは大変だから、ぜひ近隣の自治体との協力というか、情報交換というか、何か一緒にやりましょうというような気持ちも大事じゃないかなと思います。それと、気になっていたんですが、21ページ「農林水産業振興への新たな挑戦」の中で、オリーブという単語が気になっています。少し短絡的なんじゃないかな、と思いついて。小豆島に大産地があって、あまりにも有名で、そこも海外のものに押されたりしてなかなか大変な状況の中で、果たしてさぬき市はオリーブでいいのかな、と。だからといって、これというものを考えてはいないのですが、ちょっと小耳に挟んだ中では、こうぞ、とか、みつまたとかの和紙の原料、そういうものを山間地の遊休地を利用して栽培などの取組を実施しているのが徳島県、高知県にもちょくちょくあると聞いていますが、そういうものとか、香川大学の農学部がありますから、その辺の方の協力を得て、周りにあまりなくて、あまり手間もかからないものを探す。みつまたは、造幣局が買い取ってくれる、といった話を聞いたこともあります。そのように、売ることも</p>

	<p>考えていただきたいので、なぜオリーブなのかなあ、と強く感じたわけであります。それと、前回の会議で発言させていただいた地域おこし協力隊の件についての報告はいつあるのかな、と思って待っております。</p>
座長	<p>地域おこし協力隊の件は、本件に直接的には関係がないと思っておりましたが、事務局のほうで現在の状況などをお答えできるようでしたらお願いします。</p>
事務局	<p>答えといいますか、私どもでもこれまでの検証であるとか、今後どうしていくのか、ということを考えておりました。現状から申し上げますと、協力隊員は当初2名委嘱したのですが、お1人の方がご都合で今年の3月末で退任され、現在は1名の方が活動しております。一昨年の8月から活動をスタートしておまして、まず最初は、にぎわいづくりや過疎地域とかの課題解決など、割と広いテーマで募集しました。実際に隊員の方が決まって、さぬき市に来てから、自分達のできることで取り組めることを探してもらいました。特定の活動地域というものを設定しませんでしたので、地域に入っていきっかけづくりと言いますか、初動が大変だったということもあり、隊員との意見交換の中でも、そのあたりの大変さを言われましたので、市のサポートが少し弱かったのかな、とも思っています。今現在、1人の方については、例えば、サンポート高松などで開かれているマルシェに参加したり、大串でピザ窯づくりなどもやっております、さぬき市の良いところを見つけ出して、色々な関係する人を繋げるような取り組みを行っております。来年の7月末で3年間の任期が満了しますが、外部人材というのは刺激にもなりますので、地域おこし協力隊事業は、今後も継続してやっていきたいと考えております。その時に、じゃあどうするかという点については、今度はある程度テーマを絞って募集しようと考えています。例えば、多和地区で今、天体望遠鏡博物館を中心とした、産直施設などの地域活性化に繋がる複合施設がございまして、その運営などの力になってもらえるような人を募集する。実は今も募集しておりますが、内容が限定的なこともあって、今のところは問い合わせもない状況ではあります。また、この秋より取り組む予定にしております、平賀源内をテーマにした地域おこし活動、これを担ってもらえるようなテーマを設定して、今後隊員を募集してはどうかというようなことも考えているところでございます。現状と今後の取組方針程度の話となりましたが、ご報告とさせていただきます。</p>
座長	<p>大学では、新入生が来ると、オリエンテーションというか、ちょっとだけ雰囲気を感じて、どの先生の授業受けるとか、どの研究するとかを取捨選択しています。地域おこし協力隊は落下傘部隊的な要素もあるので、受ける側の対応もあるでしょうが、ご本人の意識や環境への対応という部分が結構あるのではないかと思います。テーマを絞るのも1つだと思いますが、ソフトランディング的に、受ける側でも、検討や工夫される余地はあるとは思っています。</p>
事務局	<p>理想と現実のギャップも相当あると思います。しかし、来られる隊員の方はもちろんさぬき市に興味を持って、関心を持って来ていただいておりますので、うまくギャップが埋められるような最初のサポートというものは必要だと思っています。</p>
座長	<p>分かりました。では、次の方、お願いします。</p>
委員	<p>私は、今年、小豆島の棚田に行ってきました。稲刈りも田植えも全部、香川大学の学生が来て一緒にやっておりました。そういう若い人を色々なイベントに呼び込んでいくのもいい考えだなと思っておりました。</p>

座長	<p>若い人の参画という、徳島文理大学の学生も、うまいもん祭りだとか、志度小学校での英語教育のお手伝いなど、できる範囲ではやらせてもらっていますが、まだまだ足りていないと思っていて、学長からも、これからもっとやれという指示が出ていますので、やるに当たっては、学生がすることなので、色んな面でフォローしながらやらないといけないので、一気にというわけにはいきませんが、色々考えていますので、個別でご相談があればよろしくをお願いします。</p>
事務局	<p>ぜひお願いいたします。</p>
座長	<p>確かに若い力っていうのは見えないなあ、とは思っています。ありがとうございました。</p>
委員	<p>全体的なことで、今後の進め方についてでございますが、私どもの頭取も、地方創生なくして地方銀行は生き残れないと言っております。今回の戦略策定を足がかりに、この計画に基づいて、銀行としてできることを考えて、市とも連携させていただいて取り組んでいきたいと思っております。当初、私はこの会議に来た時に、産学官全ての連携を踏まえた形の調整を行い、取り組んでいかないといけないということをお願いしましたが、今後は、まずは個別に、小さいところから取り組んでいくことが必要だと思っております。参考として申しますと、「瀬戸内モニターガールズ」いう女性グループが、各地区のあらゆる所に見学に行き、地域おこしに繋がる観光PRをしています。琴平町と善通寺市が終わって、今、東かがわ市。次は、さぬき市でも特に、平賀源内をキーワードにしたまちおこしも含めて、モニターガールを利用して内外にアピールしていくとか、色んな商品提案とかを、ベテランの女性から若い女性までを含めて提案をさせていただいて、地域にプラスになるような取り組みをしていきたいと思っております。また、テアトロンも、僕らも大変好きな場所なので、どんなふうにして活用するか、とか、徳島文理大学もあるので就職も気になるところであります。本当にライフサイクルにおいて銀行の果たす役割は大きいので、色んな内容のセミナーを開くといった貢献もしていきたいと思っております。そして、PDCAを回して検証していく中で、銀行として持っているデータを駆使して検証をお手伝いさせていただきたいとも思っていますし、今、四国経済産業局に出向している行員もおりまして、RESASと銀行のデータをうまく連携できないかという検討も行っていますので、さぬき市もうまく使っていただいて、今後の検証分野、PDCAのCAの部分を担当するように頑張っていきたいと思っております。本当に個々の最後の案に関しては私共もわからないので、特に農林水産のところは正直申し上げて、オリーブについては先程お話がありましたが、農林水産課から出てきた案なので、何らかの実現性とか展開があるのだと期待しております。</p>
委員	<p>感想になってしまいますが、参加をさせていただいて、意見も出させていただいたり、逆に言うと、地域の実情なんかも勉強させていただいて、非常に参考になりました。この総合戦略の位置付けということですが、先ほど説明がありましたように、このまま放っておくと2060年には23,000人程度になるというところ、それを合計特殊出生率1.8などの仮定を置いて、2060年に32,000人となるように取り組んでいくということですが、32,000人のまちというのはどういうまちなのかな、と思いました。想像しづらい部分もありますが、ただ、減少の影響によって地域の活力自体もどんどん縮小されていく中で、まちをどんどん良くしていくためには、やはり人の交流、外部から人を呼び込むということが重要で、魅力ある雇用を確保することが非常に大事なことだと思っております。そういう部分で言えば、この総合戦略の中には基本項目が4つありますが、全ての項目について、雇用ということが多かれ少なかれ関わってくると思っておりますので、5年や10年では、なかなかすぐには芽が出ないかもしれませんが、</p>

	<p>ここに書かれている、若年者の雇用という部分に、私は特に力を入れて進んでいきたいと思っております。我々や、金融機関、県も含めてですね、当然協力してやっていくことも大事だと思いますが、市でしかできないこともあると思います。市は市で、市民の方と接する機会があるでしょうし、地域の企業とも結びついていると思いますので、ぜひ市には、市でしかできないようなサービス支援、声を聞いていただいて、それを取組に繋げていただきたいと思っております。それと、少し気になったところがあります。パブリックコメントの中で、6番目、市としてマッチングを一体どのようにしていくのかという内容がありますが、これについて単純に考えるとハローワークが職業紹介を行っていて、市で同じようなことを行って効果があるのかな、というような意味かと想像したのですが、質問の趣旨が少し分かりにくい中ですが、まだまだ市民の方などに、もっと利用していただくような方法を工夫していただければと思います。</p>
座長	<p>ありがとうございました。サポートセンターは僕も同じ意見です。なんか周知があまりされていないのか、利用者ってどれくらいいるのでしょうか。目標と実態はどうなののでしょうか。若干、周知不足の印象が拭えません。</p>
事務局	<p>恐らく、それほど認知度は高くはないと思います。ただ、ハローワークとも共通する部分が多いので、どこで違いを出すかという課題はありますけれども、相互に連携させてはいただいているはずで、市は、市として地域密着でお世話をしたいという、関心のある方に知ってもらって、相談をかけてもらって初めてそこからスタートできますから、その辺の周知をどうやっていくかというのは課題であるとは思っています。</p>
委員	<p>私は、第2回目から参加させていただきまして、色々なご意見聞きながら、地域の実情などの理解が深まってきたかなと思っております。ありがとうございました。内容につきましてですが、1つ気になっているのが将来目標32,000人ですか、それぞれの各地区の数字が具体的にはどうなるのかなというところが気になっています。というのも、多くの施策がありますから、当然優先順位が出てくる中で、将来的な人口というところが、市全体としてはいいですけど、具体的には不安要素が拭えない地域もやはりあるのかなとも思いますので、不安を取り除くためにも、できる限り、将来的なものが見えるような形で施策を進めていくことが必要になってくるのではないかと思いますので、それらの工夫を考えないといけないのかな、と思ったのが一番の主張でございます。あと、具体的な施策では、確かにオリーブの栽培などがありました。これを今後、いかに具体的に進めていくかという中で、各地域、全国的に総合戦略進めているわけですから、当然、金融市場と一緒に、パイは限られていますので、要は取り合いということになろうかと思っておりますので、具体的に進めていく中で、いかに特徴的な取組がなされていくのかというところがポイントになってこようかと思っております。今後、それぞれの施策をどう進めていくのかとか、どういった登場人物が想定されるのかといったようなところを早い段階で明確にしていきたい、と、思っています。当然、地域外の民間に入っていただく必要もあるかもしれません。要は、社会構造として、官では判断しにくいところがどうしてもあろうかと思っておりますので、この有識者メンバーのように、民間ともしっかり連携しながら運営していただきたい、と、考えております。例えば、観光にしても、当然、観光資源だけでは人は集まりませんから、流行りのインバウンドという話であれば、じゃあ外国の方が来られた時に、外国の方をもてなす基準は何ですか、と。例えば、多言語で紹介できるようなしかけであるとか、例えばさぬき市流のおもてなしとは何なのかとか、というようなどころも、まず基本として作っていく必要もあるのかな、と思っております。宿泊施設、それから飲食とか、そういったところの協力がないと、人は集まりませんから、そう</p>

委員	<p>いった方々もどンドン巻き込みながら、今後の各施策の進め方というのを早い段階で明確にしていればいいのかと思っております。以上でございます。</p> <p>市民アンケートでは、愛着を感じているとか、住みたいという方が、70%を超えていまして、住民のそういう気持ちは非常にありがたいことですが、さぬき市の知名度ですよね、問題は。これが24ページの観光振興の中に書いていますが、さぬき市の知名度を上げることが重要であるため、あらゆる機会を使って、さぬき市の魅力をPRしていきます、という表現がございます。確かに全国的に見れば、四国そのものも知名度が低いわけですが、香川県もそうですが、その中でもさぬき市というとなお知名度が低いだろうと思います。で、全国的に見ますと香川県でよく知られているのは、こんぴらさんだけなんです。ですから、特にこのさぬき市のキャッチフレーズか何かを作られて、まずは積極的にさぬき市とはこういうまちなんですよということをよく知ってもらい必要があるだろうと思います。さぬき市のいいところを知れば、当然移住してくる人も増えるでしょうし、そういう面を充実させてほしいというのが1つ。それともう1つは、広域連携の話が出ていましたが、特に観光なんかは、さぬき市だけでやるのはあんまり効果ないでしょうし、自治体であるとか、いろんな協議会もあるようですから、そんなところと一っしょになって積極的に推進していただきたいなと思います。それともう1つ、目標数値の中で、丸い数じゃなくて何人というふうな数字がありますね。それはどういう形ではじき出しておられるんですか。250とか300という数字だったらだいたいそうかなと思います、何人というところがありますね。28ページのバスストップとかですね。これ丸めてないですね。</p>
事務局	<p>今、手元に算出根拠の資料がないのですが、そちらの数値は、都市計画課が根拠を持って計算し、目標数値として掲載したものです。</p>
委員	<p>基準数値に基づいて、算出したのだろうが。</p>
委員	<p>正確を期すという思いもあったのかもしれない。</p>
事務局	<p>丸めてもいいのではないかと、という話もあろうかと思しますので、再度、所管課と協議してみます。</p>
委員	<p>ぜひこの目標を達成していただきたいと思っております。以上でございます。</p>
座長	<p>どうもありがとうございました。</p>
委員	<p>KPIの指標がちょっと変わっていたのがなぜなのかということをお聞かせ願いたいかなと思ったのが、23ページの若者向けの就職支援活動の強化のKPI指数が12人、20人となっていたと思いますが、前回いただいた資料では、これは紹介状の発行件数というふうになっていたかと思っております。これを人数に変えた根拠を教えてください。これがまず1つ。あと、資料の中で平成27年度に実施している事業はこういう事業で、こういう予算付けがされていますということが書かれていますが、今回の戦略に新たに出てきている事業もあろうかと思しますので、それがどれかというのと、さっき言われていましたが、実際、来年度から取り組んでいきなり、この秋以降に補正予算を組むものがあるならば、それがどれで、かつ、今ははっきりとは言えないかもしれませんが、そろそろ来年度の予算編成に取り組まれている時期だと思いますので、どのくらいの予算をつけていくのかということも、有識者会議に直接関係はないかもしれませんが、非常に気になりました。あと、この総合戦略で出すべきかど</p>

	<p>うかわからないですが、前回、前々回この会議の中で議論になっていたのが、施策の周知や住民に対してのPRについてです。戦略自体を出すかは別にして、これをどうやっていくかということの周知は、やはり非常に大事なポイントになるというふうに思います。施策全体的に言うと、私ども働く者の立場で言うと、子育て支援や教育支援を多く含んでいるので、これはありがたいなという要素が多々ありますが、それをどう周知していくかというのは、ぜひ市側として何か明らかにしてほしいと思います。あと、施策ごとのKPIが出ていますが、5年後に検証しますよというKPIで、PDCAも回していくということですが、人口ビジョンで、折れ線グラフが2060年まで出ていますが、その間で、5年後にも軸は通っていますよね。各施策のKPIもそうなのですが、本来で言うと、例えば32,000人に向かう人口に対しての、5年後の推計値、もちろんぶれるとは思いますが持っていてもいいのではないかと思います。単に5年後にKPIの個々の部分だけの検証をしているので本当にいいのか。個々の施策がよかったかどうかというのではなくて、5年後10年後になってくるとちょっと視点を変えて見ないといけないということになると、たとえば人口的にどうだったかとかいうのも検証項目として、指標がいるのではないかと思います。あともう1つ、前々から気になっているのですが、先に、他の委員も言われていましたし、パブコメでも出ていたかと思いますが、近隣市町村との連携に関することです。私が所属する団体も、県を入れて12自治体の有識者会議に参加させていただいておりますが、多くの自治体が10月末に向かって戦略をつくっている、年度末に向かって作っておられる自治体もありましたけれども、ほとんど、連携とか情報交換とかがないですよ。特に、県も県だけで作っていて、各市町と連携して情報吸い上げて支援になるような、という雰囲気ではないように見えますので、どうするか。雇用は大事ですけど、雇用の場は高松市だったとしても、住むのはさぬき市ということでもいいと思うので、この場合、連携が必要になってくると思います。戦略を10月に国に出すという流れは流れとして、今後は、県が主導するかどうかで、やっぱり地方創生に向けての県の目標があって、しかしそれは各市町があつての話なので、県に働きかけて、少なくとも圏域くらいでの検証か情報交換かそういう場はぜひ、さぬき市としても県に投げかけていただきたいかな、というふうに思いました。以上です。</p>
座長	事務局は、答えられる範囲でお答えいただきたい。
事務局	<p>担当からお答えさせていただいた後、課長より補強させていただきます。まず1点目、23ページの就職サポートセンターのマッチングのKPIですが、これについては、前回の有識者会議でいただいたご意見に基づき商工観光課と協議した結果、人数を取り上げる方が適切だろうとなつて、変更いたしました。あと、各実施事業のことですが、この事業とお金については、今のところ、この戦略に掲載されているもの以外の今年度の補正はきっと出てこないと思います。今、28年度の当初予算編成にむけて、各課が、戦略に掲載している事業のうち、来年度から取り組みたい意向がある事業の予算取りに奔走されているところがございます。といいますのも、戦略に掲載している各施策については、5年間、このような形で進めていきたいという、年度計画を作成していますので、その実現に向けて着々と各課が頑張っているところがございます。あと、近隣市町村との連携につきましては色々と議論しました。今のところ新しい取組として、大きな可能性として話に上がっているのが、地域循環型新産業づくりの挑戦に関連し、新エネルギー事業に取り組む意向のある町と、何かの形で連携ができればいいのではないかと、という話が一部で浮上していると聞いています。もちろんこれは、実現するかどうかは今後の話になってきますが。それと、定住自立圏ということで、高松市や東かがわ市など、近隣市町村と圏域を作っております。こちらにおける取組の推進は、総合計画で書いておりますので、今回の総合戦略からはあえて外</p>

	<p>しております。あと、人口の推移の指標のことについてですが、人口ビジョンを作っております。毎年度毎年度見直しをしていく中で、K P I の達成については目標数値を 31 年度に設けておりますけども、目標数値の達成に向かって進んでいるのかという検証も行っていきます。その中で、人口についても、人口ビジョンと見合わせながら、あえて指標、目標数値は出しておりませんが、注視しながら取り組みを進めていくつもりでございますので、今後、検証委員会を立ち上げる中で、きっとそれらのことも注目されるということは想定しながら、事務局としては色々なことを進めていきたいと考えております。最後に住民への周知です。こちらについては、今後、策定しました、ということも含めまして周知していく方針ですが、ただ、内容の幅があまりに広いので、28 年度に当初予算が決定した段階で、戦略に書かれた施策や事業にどれだけの予算がついたかが分かりますので、政策課において一覧を作る予定にしております。それを利用しながら、当初予算の周知と兼ねまして、総合戦略も絡ませながら、具体的にわかりやすい情報を提供していきたいと思っております。全体をお見せしても、見た方も大変だと思いますので、工夫しながら周知していきたいと思っております。</p>
政策課長	<p>今この総合戦略のほうに 27 年度事業の事業予算を列举しております。当初、総合戦略を作る時に、本来は最初 28 年度の見込み、計画事業というような形で載せようとしておりました。ただやはり 28 年度というのは、今ちょうど当初予算に向けての政策的な経費等の事前査定が始まったところであり、これから 12 月、1 月と予算編成に向けて精査していく必要がありますので、総合戦略の策定期間が 10 月末までに前倒しになったことにより、予定事業とはいえ、未確定情報を掲載すべきではないため、見送りとさせていただきます。また、新たな取り組みに対し、予算要求時に「地方創生枠」を取り入れたいとも考えておりましたが、先ごろ発表された国における新型交付金の規模が期待されていたほどでなく、十分な財源保障が見込めないため、「あれもこれも」というわけにもいかず、個別査定の中で、「選択と集中」を図っていくこととしております。個々の施策については、3 月議会で審議いただく際の「予算の概要」資料の中で、地方創生関連事業として取りまとめる予定ですので、PDCA サイクルを回していく際の参考資料にはなると考えております。ただ、K P I については、新たな取組の成果が表れてくるには、ある程度時間がかかることから、実際に成果の検証ができるようになるには、2,3 年要するものと思っております。</p>
座長	<p>分かりました。ご出席の皆さん全員からご意見をいただきましたので、本素案については了承ということでよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>< 異議なし ></p>
座長	<p>それでは、事務局は、適宜、本日の意見を反映させてください。それでは今後のスケジュールについて事務局は説明してください。</p>
事務局	<p>< 説明 ></p>
座長	<p>今年度の有識者会議はこれで最後となるようですが、皆さま、様々な貴重なご意見をありがとうございました。今後も、さぬき市の戦略推進にご協力くださいますようお願いいたします。以上で閉会といたします。ありがとうございました。</p>

< 閉 会 > (11 : 40)